

平成27年国勢調査 従業地・通学地集計結果

平成29年7月6日
埼玉県総務部統計課

1 従業地・通学地別人口

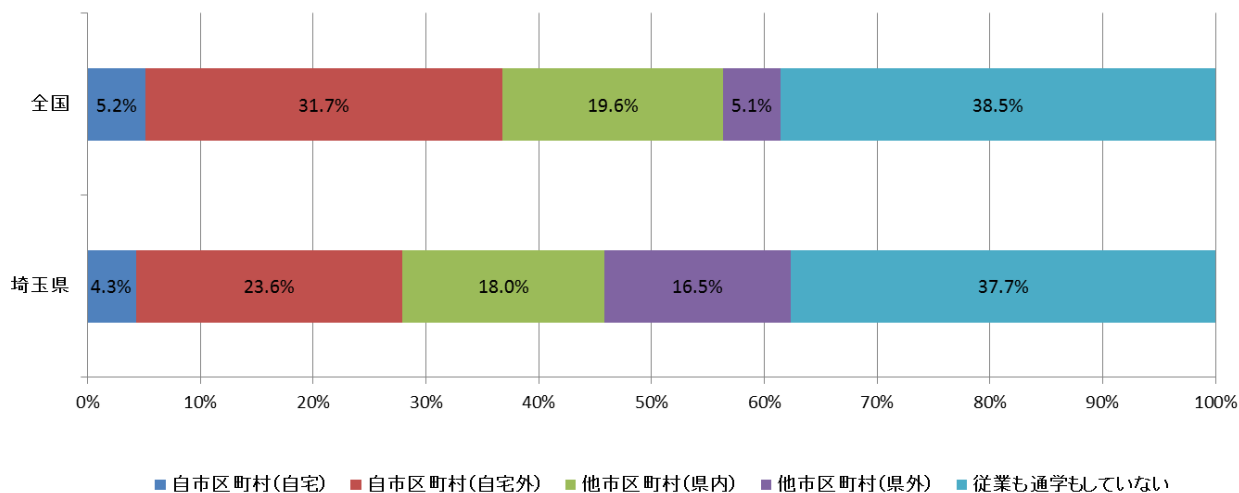
(1) 従業地・通学地 ー総人口

- 他県で従業・通学する人口割合は16.5%であり、全国で最も高い
- 自市区町村内での従業・通学が減少している

本県の総人口に占める従業地・通学地別人口割合は、自市区町村（自宅）が4.3%、自市区町村（自宅外）が23.6%、他市区町村（県内）が18.0%、他市区町村（県外）が16.5%などとなっている。

これを全国と比較すると、自市区町村（自宅外）が8.1ポイント低い。一方、他市区町村（県外）は、11.4ポイント高い。他県で従業・通学する人口割合は、16.5%であり、前回調査（平成22年）に引き続き全国で最も高かったものの、0.6（※）ポイント減少している。

従業地・通学地別人口の割合



【他県で従業・通学】

平成27年

順位	都府県	人口に占める割合(%)
1	埼玉県	16.5
2	奈良県	15.2
3	千葉県	15.1
4	神奈川県	14.4
5	兵庫県	7.6

平成22年

順位	都府県	人口に占める割合(%)
1	埼玉県	17.0
2	千葉県	15.7
3	奈良県	15.7
4	神奈川県	14.2
5	兵庫県	7.6

注) 当該表における表記では、小数点以下第2位において四捨五入しているため、前述の差（※）とは一致しない。

過去の調査と比較すると、自市区町村内での従業・通学割合は17年の30.7%が、22年には2.1ポイント減少し28.6%、27年には0.7ポイント減少し27.9%となり、連続して減少している。

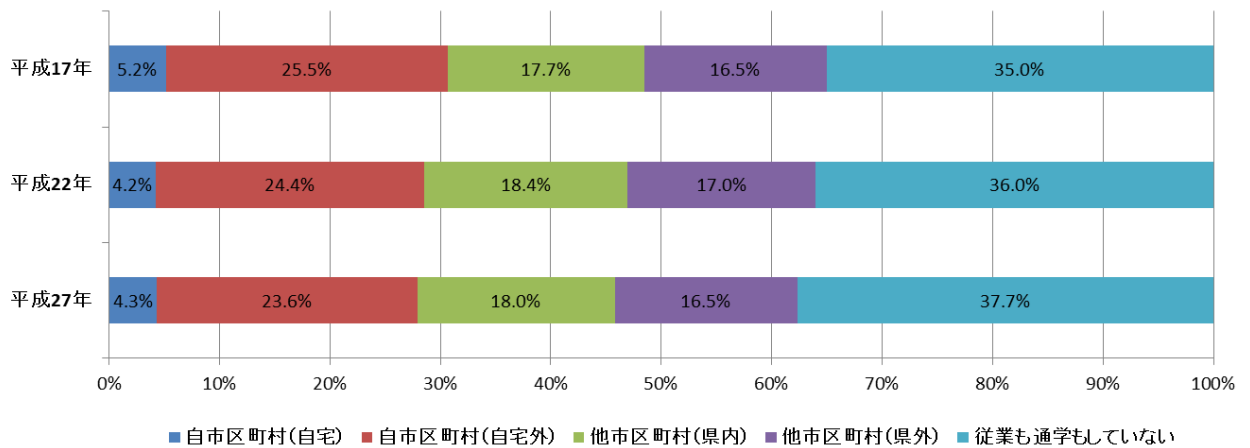
従業地・通学地別人口及び15歳以上就業者数 一埼玉県

* 従業地・通学地不詳を含まない。

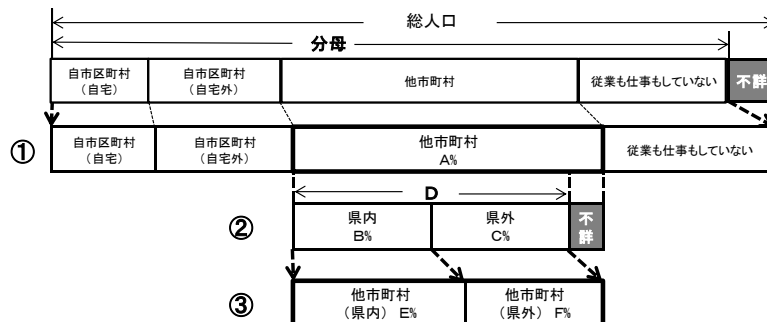
	実数(人)			割合(%)			ポイント差	
	平成17年*	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	17年~22年	22年~27年
常住人口(夜間人口)	7,035,620	7,194,556	7,266,534	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
自市区町村	2,106,912	1,921,666	1,842,964	30.7	28.6	27.9	-2.1	-0.7
(自宅)	354,127	283,024	284,862	5.2	4.2	4.3	-1.0	0.1
(自宅外)	1,752,785	1,638,642	1,558,102	25.5	24.4	23.6	-1.2	-0.8
他市区町村	2,352,625	2,383,041	2,275,114	34.3	35.4	34.4	1.2	-1.0
(県内)	1,218,144	1,155,040	1,169,569	17.7	18.4	18.0	0.7	-0.4
(他県)	1,134,481	1,069,516	1,073,576	16.5	17.0	16.5	0.5	-0.6
従業も通学もしていない	2,406,183	2,421,475	2,489,230	35.0	36.0	37.7	1.0	1.7

常住人口のうち15歳以上従業・通学者	平成17年*	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	17年~22年	22年~27年
自市区町村	1,579,218	1,398,050	1,394,941	40.4	37.2	38.2	-3.1	1.0
(自宅)	354,127	283,024	284,861	9.1	7.5	7.8	-1.5	0.3
(自宅外)	1,225,091	1,115,026	1,110,080	31.3	29.7	30.4	-1.6	0.7
他市区町村	2,331,682	2,356,977	2,256,143	59.6	62.8	61.8	3.1	-1.0
(県内)	1,206,716	1,142,759	1,157,601	30.9	32.6	32.2	1.7	-0.4
(他県)	1,124,966	1,060,400	1,066,918	28.8	30.2	29.6	1.4	-0.6

従業地・通学地別人口の割合の推移



注) 他市区町村の県内・県外割合等の求め方



- 他市区町村ほかの各割合は、総人口から従業地・通学地不詳等を除いたものを分母に算出する。 ①
- 「県内」「県外」の割合は、次の2ステップで求める。
 - ステップ1 「他市区町村」の中から従業・通学市区町村不詳等を除いた数(D)を分母として、
県内の割合(B%)と県外の割合(C%)を求める。 ②
 - ステップ2 他市区町村の割合Aに、BとCを乗じて、他市区町村(県内)E%と他市区町村(県外)F%を
求める。 ③

(2) 従業地・通学地 - 15歳以上の就業者、通学者

ア 流出人口

- 15歳以上の就業者・通学者のうち、他県で従業・通学している者の約9割が東京都へ
- 他県で従業・通学している人数は、神奈川県に次いで全国で2番目に多い

埼玉県に常住する15歳以上の就業者・通学者3,858,637人のうち、「他県」で従業・通学している者は1,066,918人である。

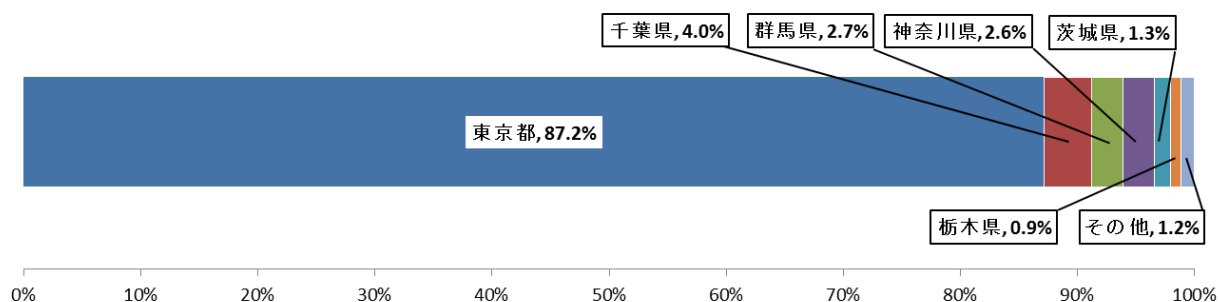
このうち最も多い従業・通学地は、東京都が930,050人（他県で従業・通学する者全体の87.2%）であり、以下、千葉県が42,850人（同4.0%）、群馬県が29,065人（同2.7%）、神奈川県が28,067人（同2.6%）などの順となっている。

他県で従業・通学する人数は、神奈川県の1,121,858人に次いで全国で2番目に多く、その割合28.0%は、奈良県の29.0%に次いで全国で2番目に高い。

他都道府県で従業・通学する15歳以上就業者及び通学者(流出人口)

	総数				男			女		
	総数	割合(%)	就業者	通学者	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者
流出人口	1,066,918	100.0	954,210	112,708	724,453	665,360	59,093	342,465	288,850	53,615
茨城県	14,381	1.3	13,628	753	11,104	10,611	493	3,277	3,017	260
栃木県	9,991	0.9	8,489	1,502	8,327	7,322	1,005	1,664	1,167	497
群馬県	29,065	2.7	26,674	2,391	21,438	20,141	1,297	7,627	6,533	1,094
千葉県	42,850	4.0	35,710	7,140	29,223	24,938	4,285	13,627	10,772	2,855
東京都	930,050	87.2	835,237	94,813	620,204	572,058	48,146	309,846	263,179	46,667
神奈川県	28,067	2.6	23,139	4,928	22,826	19,790	3,036	5,241	3,349	1,892
その他の道府県	12,514	1.2	11,333	1,181	11,331	10,500	831	1,183	833	350

常住地による従業・通学市区町村、他県への従業・通学先



他県で従業・通学する人数 人

順位	都道府県	他県で従業・通学する人数 ()内は平成22年
1	神奈川県	1,121,858 (1,087,143)
2	埼玉県	1,066,918 (1,060,400)
3	千葉県	828,177 (833,129)
4	東京都	493,631 (466,534)
5	兵庫県	381,168 (371,973)
43	徳島県	7,942 (5,786)
44	福井県	7,903 (5,788)
45	秋田県	5,625 (3,425)
46	高知県	3,642 (2,731)
47	沖縄県	2,620 (1,325)

他県で従業・通学する割合 %

順位	都道府県	他県で従業・通学する割合 ()内は平成22年
1	奈良県	29.0 (30.4)
2	埼玉県	28.0 (29.2)
3	千葉県	26.4 (27.6)
4	神奈川県	24.8 (25.0)
5	兵庫県	14.1 (14.2)
43	秋田県	1.1 (0.6)
44	高知県	1.0 (0.8)
45	新潟県	0.8 (0.4)
46	沖縄県	0.4 (0.2)
47	北海道	0.4 (0.2)

イ 流入人口

○ 他都道府県から埼玉県に通勤・通学している者の5割強は東京都から

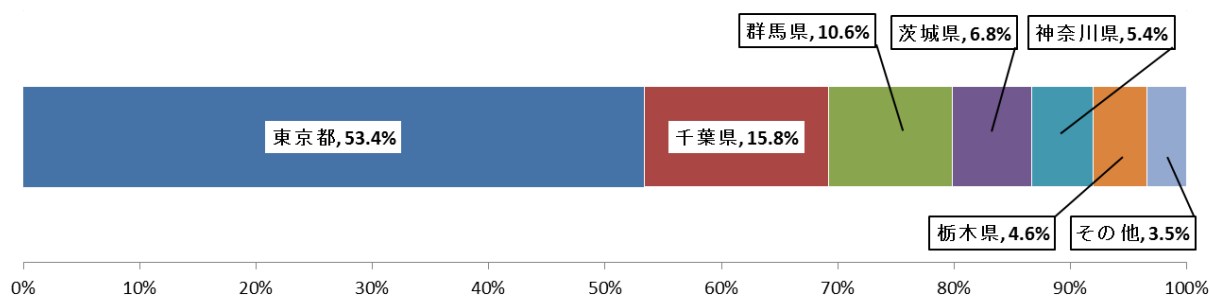
他の都道府県に常住し、埼玉県に従業・通学している15歳以上の就業者・通学者は、261,155人である。

このうち最も多い常住地(都道府県)は、東京都が139,434人(県外からの通勤・通学者全体の53.4%)であり、以下、千葉県が41,286人(同15.8%)、群馬県が27,766人(同10.6%)などの順となっている。

他都道府県から埼玉県に従業・通学する15歳以上就業者及び通学者(流入人口) 人

	総数				男			女		
	総数	割合(%)	就業者	通学者	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者
流入人口	261,155	100.0	223,225	37,930	182,265	161,233	21,032	78,890	61,992	16,898
茨城県	17,714	6.8	14,510	3,204	11,354	9,731	1,623	6,360	4,779	1,581
栃木県	11,952	4.6	9,255	2,697	8,528	7,090	1,438	3,424	2,165	1,259
群馬県	27,766	10.6	23,398	4,368	18,619	16,223	2,396	9,147	7,175	1,972
千葉県	41,286	15.8	35,817	5,469	29,267	26,450	2,817	12,019	9,367	2,652
東京都	139,434	53.4	122,364	17,070	96,019	86,248	9,771	43,415	36,116	7,299
神奈川県	13,980	5.4	11,534	2,446	11,258	9,811	1,447	2,722	1,723	999
その他の道府県	9,023	3.5	6,347	2,676	7,220	5,680	1,540	1,803	667	1,136

埼玉県で従業・通学する者の常住地(都道府県)



ウ その他

○ 東京都に従業・通学している者の数は、神奈川県に次いで2番目に多い

他の道府県に常住し、東京都に従業・通学している15歳以上の就業者・通学者は、2,887,068人である。

このうち最も多い常住地(道府県)は、神奈川県が1,059,202人(都外からの通勤・通学者全体の36.7%)であり、次いで多いのが埼玉県の930,050人(同32.2%)、千葉県の713,547人(同24.7%)となっている。

東京都で従業・通学する15歳以上就業者及び通学者(流入人口)

人

	総数				男			女		
	総数	割合	就業者	通学者	総数	就業者	通学者	総数	就業者	通学者
流入人口	2,887,068	100.0 %	2,579,045	308,023	1,944,384	1,786,293	158,091	942,684	792,752	149,932
茨城県	67,156	2.3 %	56,247	10,909	47,708	42,287	5,421	19,448	13,960	5,488
栃木県	17,269	0.6 %	13,229	4,040	12,378	10,581	1,797	4,891	2,648	2,243
群馬県	13,590	0.5 %	9,679	3,911	9,747	7,833	1,914	3,843	1,846	1,997
埼玉県	930,050	32.2 %	835,237	94,813	620,204	572,058	48,146	309,846	263,179	46,667
千葉県	713,547	24.7 %	654,538	59,009	487,826	458,315	29,511	225,721	196,223	29,498
神奈川県	1,059,202	36.7 %	942,441	116,761	699,286	637,832	61,454	359,916	304,609	55,307
その他の道府県	86,254	3.0 %	67,674	18,580	67,235	57,387	9,848	19,019	10,287	8,732

常住地による従業・通学 都県別、15歳以上就業者及び通学者 — 関東

1) 従業地・通学地「不詳」を含む。

人

	当地に常住する就業・通学者 ¹⁾	自都県で従業・通学	他都県で従業・通学	都県別							
				茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	その他
茨城県	1,544,704	1,336,530	160,469		22,007	1,160	17,714	41,576	67,156	3,742	7,114
栃木県	1,055,130	947,864	77,607	18,132		23,406	11,952	1,196	17,269	1,770	3,882
群馬県	1,063,694	976,741	64,714	1,071	16,385		27,766	893	13,590	1,518	3,491
埼玉県	3,858,637	2,552,542	1,066,918	14,381	9,991	29,065		42,850	930,050	28,067	12,514
千葉県	3,182,004	2,218,027	828,177	34,707	1,140	790	41,286		713,547	25,917	10,790
東京都	6,470,576	5,303,785	493,631	7,530	2,762	2,245	139,434	81,139		234,344	26,177
神奈川県	4,570,694	3,246,098	1,121,858	2,680	1,428	1,150	13,980	14,853	1,059,202		28,565

2 昼夜間人口

(1) 都道府県

- 埼玉県の昼間人口は約646万人であり、全国で5番目に多い
- 昼夜間人口比率は88.9で、前回調査（平成22年）に引き続き全国で最も低いものの、0.3ポイント上昇している

埼玉県の昼間人口は、前回調査（平成22年）に引き続き全国で5番目に多い6,456,452人であり、前回調査から82,963人増加している。

埼玉県の昼夜間人口比率（夜間人口100人当たりの昼間人口の割合）は88.9であり、前回調査に引き続き全国で最も低いものの、0.3ポイント上昇している。

同比率が低い県としては、以下、千葉県の89.7、奈良県の90.0と続き、東京都や大阪府の周辺に位置する県で昼夜間人口比率が低くなっている。

一方、昼夜間人口比率が最も高いのは東京都の117.8であり、大阪府104.4、京都府の101.8と続く。

◇ 昼夜間人口比率

【比率の高い順】

平成27年

順位	都府県	昼夜間人口比率
1	東京都	117.8
2	大阪府	104.4
3	京都府	101.8
4	愛知県	101.4
5	宮城県	100.3

【比率の高い順】

平成22年

順位	都府県	昼夜間人口比率
1	東京都	118.4
2	大阪府	104.7
3	愛知県	101.5
4	京都府	101.2
5	広島県	100.3

【比率の低い順】

平成27年

順位	都府県	昼夜間人口比率
1	埼玉県	88.9
2	千葉県	89.7
3	奈良県	90.0
4	神奈川県	91.2
5	兵庫県	95.7

【比率の低い順】

平成22年

順位	都府県	昼夜間人口比率
1	埼玉県	88.6
2	千葉県	89.5
3	奈良県	89.9
4	神奈川県	91.2
5	兵庫県	95.7

◇ 昼間人口

【人口の多い順】

平成27年

単位:人

順位	都府県	昼間人口
1	東京都	15,920,405
2	大阪府	9,224,306
3	神奈川県	8,322,926
4	愛知県	7,586,294
5	埼玉県	6,456,452

【人口の多い順】

平成22年

単位:人

順位	都府県	昼間人口
1	東京都	15,576,130
2	大阪府	9,280,560
3	神奈川県	8,254,193
4	愛知県	7,520,876
5	埼玉県	6,373,489

【人口の少ない順】

平成27年

単位:人

順位	都府県	昼間人口
1	鳥取県	572,678
2	島根県	694,770
3	高知県	727,644
4	徳島県	752,919
5	福井県	786,736

【人口の少ない順】

平成22年

単位:人

順位	都府県	昼間人口
1	鳥取県	588,523
2	島根県	717,522
3	高知県	763,479
4	徳島県	783,270
5	福井県	806,735

(2) 市町村

県内で昼夜間人口比率が最も高いのは三芳町の117.2、最も低いのは富士見市の74.0

県内で昼夜間人口比率が最も高いのは三芳町の117.2であり、以下、美里町の104.9、川島町の103.1の順となっている。

一方、昼夜間人口比率が最も低いのは富士見市の74.0であり、以下、白岡市の77.3、松伏町の77.9の順となっている。

◇ 昼夜間人口比率

【比率の高い順】

平成27年

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	三芳町	117.2
2	美里町	104.9
3	川島町	103.1
4	本庄市	102.8
5	嵐山町	102.5

【比率の高い順】

平成22年

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	三芳町	113.1
2	嵐山町	104.5
3	美里町	100.8
4	本庄市	100.8
5	滑川町	100.4

【比率の低い順】

平成27年

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	富士見市	74.0
2	白岡市	77.3
3	松伏町	77.9
4	志木市	79.1
5	東秩父村	79.5

【比率の低い順】

平成22年

順位	市町村	昼夜間人口比率
1	富士見市	72.4
2	鳩ヶ谷市	75.6
3	東秩父村	76.4
4	白岡町	77.0
5	松伏町	78.2

◇ 昼間人口

【人口の多い順】

平成27年

単位:人

順位	市町村	昼間人口
1	さいたま市	1,175,579
2	川口市	473,778
3	川越市	338,663
4	越谷市	294,715
5	所沢市	293,197

【人口の多い順】

平成22年

単位:人

順位	市町村	昼間人口
1	さいたま市	1,133,978
2	川口市	419,080
3	川越市	332,876
4	所沢市	295,595
5	越谷市	282,810

【人口の少ない順】

平成27年

単位:人

順位	市町村	昼間人口
1	東秩父村	2,317
2	長瀨町	6,301
3	横瀬町	7,044
4	皆野町	9,274
5	ときがわ町	10,316

【人口の少ない順】

平成22年

単位:人

順位	市町村	昼間人口
1	東秩父村	2,559
2	長瀨町	6,861
3	横瀬町	7,409
4	皆野町	10,056
5	ときがわ町	10,813

別紙（昼夜間人口比率）

○ 都道府県

平成27年

	昼夜間人口 比率	順位
00 全国	100.0	-
01 北海道	99.9	17
02 青森県	99.8	24
03 岩手県	99.8	28
04 宮城県	100.3	5
05 秋田県	99.8	31
06 山形県	99.7	32
07 福島県	100.2	10
08 茨城県	97.5	40
09 栃木県	99.0	37
10 群馬県	99.8	25
11 埼玉県	88.9	47
12 千葉県	89.7	46
13 東京都	117.8	1
14 神奈川県	91.2	44
15 新潟県	99.9	21
16 富山県	99.8	30
17 石川県	100.2	8
18 福井県	100.0	15
19 山梨県	99.2	36
20 長野県	99.8	29
21 岐阜県	96.1	42
22 静岡県	99.8	26
23 愛知県	101.4	4
24 三重県	98.3	38
25 滋賀県	96.5	41
26 京都府	101.8	3
27 大阪府	104.4	2
28 兵庫県	95.7	43
29 奈良県	90.0	45
30 和歌山県	98.2	39
31 鳥取県	99.9	23
32 島根県	100.1	12
33 岡山県	100.0	13
34 広島県	100.2	9
35 山口県	99.6	34
36 徳島県	99.6	33
37 香川県	100.2	7
38 愛媛県	100.0	14
39 高知県	99.9	20
40 福岡県	100.1	11
41 佐賀県	100.2	6
42 長崎県	99.8	27
43 熊本県	99.5	35
44 大分県	99.9	18
45 宮崎県	99.9	19
46 鹿児島県	99.9	22
47 沖縄県	100.0	16

平成22年

	昼夜間人口 比率	順位
00 全国	100.0	-
01 北海道	100.0	19
02 青森県	100.0	13
03 岩手県	99.7	32
04 宮城県	100.2	9
05 秋田県	99.9	24
06 山形県	99.8	28
07 福島県	99.6	33
08 茨城県	97.2	40
09 栃木県	99.1	36
10 群馬県	99.9	27
11 埼玉県	88.6	47
12 千葉県	89.5	46
13 東京都	118.4	1
14 神奈川県	91.2	44
15 新潟県	100.0	17
16 富山県	99.8	29
17 石川県	100.2	7
18 福井県	100.1	12
19 山梨県	99.0	37
20 長野県	99.9	25
21 岐阜県	96.0	42
22 静岡県	99.9	26
23 愛知県	101.5	3
24 三重県	98.1	38
25 滋賀県	96.6	41
26 京都府	101.2	4
27 大阪府	104.7	2
28 兵庫県	95.7	43
29 奈良県	89.9	45
30 和歌山県	98.1	39
31 鳥取県	100.0	18
32 島根県	100.0	16
33 岡山県	99.9	21
34 広島県	100.3	5
35 山口県	99.5	35
36 徳島県	99.7	31
37 香川県	100.2	8
38 愛媛県	100.1	10
39 高知県	99.9	23
40 福岡県	100.1	11
41 佐賀県	100.2	6
42 長崎県	99.8	30
43 熊本県	99.6	34
44 大分県	100.0	15
45 宮崎県	100.0	14
46 鹿児島県	99.9	22
47 沖縄県	100.0	20

○ 市町村
平成27年

	昼夜間人口比率	順位
埼玉県	88.9	-
さいたま市	93.0	20
川越市	96.6	11
熊谷市	97.9	9
川口市	82.0	54
行田市	89.8	28
秩父市	96.0	14
所沢市	86.1	39
飯能市	89.3	30
加須市	92.6	22
本庄市	102.8	4
東松山市	100.3	6
春日部市	82.8	47
狭山市	94.9	17
羽生市	97.0	10
鴻巣市	79.9	58
深谷市	94.1	18
上尾市	82.7	48
草加市	84.0	44
越谷市	87.3	35
蕨市	83.2	45
戸田市	91.3	26
入間市	86.5	37
朝霞市	82.6	50
志木市	79.1	60
和光市	87.3	36
新座市	85.7	41
桶川市	84.4	43
久喜市	90.5	27
北本市	80.1	57
八潮市	96.2	13
富士見市	74.0	63
三郷市	88.4	33
蓮田市	82.9	46
坂戸市	92.4	23
幸手市	86.3	38
鶴ヶ島市	80.7	55
日高市	95.4	16
吉川市	80.1	56
ふじみ野市	82.4	51
白岡市	77.3	62
伊奈町	98.9	8
三芳町	117.2	1
毛呂山町	92.8	21
越生町	88.5	32
滑川町	98.9	7
嵐山町	102.5	5
小川町	82.1	52
川島町	103.1	3
吉見町	87.8	34
鳩山町	95.6	15
ときがわ町	89.8	29
横瀬町	82.7	49
皆野町	91.5	25
長瀨町	86.0	40
小鹿野町	93.5	19
東秩父村	79.5	59
美里町	104.9	2
神川町	91.6	24
上里町	84.7	42
寄居町	96.3	12
宮代町	82.1	53
杉戸町	89.0	31
松伏町	77.9	61

平成22年

	昼夜間人口比率	順位
埼玉県	88.6	-
さいたま市	92.8	18
川越市	97.1	10
熊谷市	98.6	6
川口市	83.7	47
行田市	88.5	27
秩父市	96.6	11
所沢市	86.5	36
飯能市	88.7	26
加須市	90.6	23
本庄市	100.8	4
東松山市	98.6	7
春日部市	82.0	50
狭山市	93.9	14
羽生市	97.5	9
鴻巣市	80.0	55
深谷市	95.0	13
上尾市	83.9	46
草加市	85.5	40
越谷市	86.7	34
蕨市	85.1	41
戸田市	93.8	16
入間市	86.6	35
鳩ヶ谷市	75.6	63
朝霞市	84.1	45
志木市	78.3	59
和光市	84.8	42
新座市	86.2	38
桶川市	84.5	44
久喜市	86.9	32
北本市	79.4	56
八潮市	97.6	8
富士見市	72.4	64
三郷市	85.6	39
蓮田市	80.7	53
坂戸市	92.2	21
幸手市	84.5	43
鶴ヶ島市	78.7	58
日高市	92.0	22
吉川市	82.0	52
ふじみ野市	83.2	48
伊奈町	96.0	12
三芳町	113.1	1
毛呂山町	89.0	25
越生町	87.5	29
滑川町	100.4	5
嵐山町	104.5	2
小川町	78.9	57
川島町	92.9	17
吉見町	82.5	49
鳩山町	89.9	24
ときがわ町	87.1	31
横瀬町	82.0	51
皆野町	92.4	20
長瀨町	86.8	33
小鹿野町	92.4	19
東秩父村	76.4	62
美里町	100.8	3
神川町	93.9	15
上里町	86.4	37
寄居町	88.4	28
宮代町	80.5	54
白岡町	77.0	61
杉戸町	87.3	30
松伏町	78.2	60

○ さいたま市区部
平成27年

	昼夜間人口比率
さいたま市	93.0
西区	87.3
北区	90.4
大宮区	140.8
見沼区	81.5
中央区	98.6
桜区	85.7
浦和区	100.0
南区	75.3
緑区	80.3
岩槻区	102.4

平成22年

	昼夜間人口比率
さいたま市	92.8
西区	86.1
北区	91.6
大宮区	138.7
見沼区	80.8
中央区	98.4
桜区	84.2
浦和区	102.4
南区	75.5
緑区	79.5
岩槻区	101.6